

令和6年度 第1回 小松島市立学校再編準備会議 会議録【要旨】

1. 日 時：令和6年7月9日（火）午後1時30分～午後3時15分まで
2. 場 所：小松島市教育委員会1階会議室
3. 参 加 者：【委員】垣内正治委員、吉原稔祐委員、高井賢二委員、西山伸二委員、
金西章委員、水本徳子委員、稲田米昭委員、福永輝美委員、
井内健人委員、葛上秀文委員、小川宏樹委員、坂口敏司委員
【傍聴者・取材記者】 5名
4. 事 務 局：小野寺教育長、勢井副教育長、高瀬教育次長、山下学校課長、
大田学校課主幹、牛田学校課主幹、近藤教育政策課学校再編推進室係長
5. 概 要：1 開会
2 教育長あいさつ
3 会長及び副会長の選出
4 議事
（1）（仮称）新小松島小学校施設整備事業について
（2） 総務部会報告
① 制服について
② 校名決定手順について
（3） 教育課程等部会報告
小中連携について
（4） その他
5 閉会
6. 議事経過： 次頁以降に掲載

【議事経過】

1. 開 会

○近藤教育政策課学校再編推進室係長

皆様、こんにちは。皆様おそろいになりましたので、只今より、「令和6年度 第1回小松島市立学校再編準備会議」を開催させていただきます。

委員の皆様、本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。

本日、司会を務めさせていただきます、教育政策課の近藤と申します。

まずはじめに、本会議の開催要件についてであります。資料4の委員名簿のとおり、この準備会議は16名の委員で構成されており、本日は過半数以上となる12名の方に出席いただいておりますので、「小松島市立学校再編準備会議設置要綱」第6条第3項に規定されております要件を満たし、会議が成立しておりますことを報告いたします。

そして、今年度から新たに「市PTA連合会 会長 住村 洋昌様」、「小学校校長会 会長 吉原 稔祐様」、「南小松島小学校 校長 高井 賢治様」、「中学校校長会 会長 西山 伸二様」、「幼稚園保護者会 福永 輝美様」、「鳴門教育大学 高度学校教育実践専攻 教員養成特別コース 教授 葛上 秀文様」に委員をお願いしております。

委嘱状はお手元に配布させていただいておりますので、ご確認ください。

なお、本会議においては議事録を作成する都合上、会議内容の録音、記録用の写真撮影をさせていただくことをご了承くださいますようお願いいたします。

また、委員の皆様のお名前、議事録、会議資料、会議の様子、進捗状況等をこれまで同様、市ホームページなどで公開し、市民の皆様様に周知していきたいと考えておりますので、これにつきましても、ご了承いただきたいと思っております。

次に、資料の確認をさせていただきます。

【資料の確認】

以上お手元がない資料がございましたら、事務局にお申し付けください。

委員の皆様、よろしいでしょうか。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

次第の2つ目といたしまして、小野寺教育長からごあいさつを申し上げます。

2. 教育長あいさつ

○小野寺教育長

改めまして、皆様、こんにちは。本日は、令和6年度第1回の小松島市立学校学校再編準備会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

お集りの皆様方には、本年度、準備会議委員をお引き受けいただいたことに感謝を申し上げます。どうぞよろしくお願ひできたらと思ひます。

本準備会議は、3年目になろうかと思えます。

先日には、優先交渉権者となる企業グループも決定し、新たな学校の設計図でありますとか、イメージ図なども提案されております。

昨年度までは、まだ漠然とした感じで、新しい学校をつくるために進めてきたわけですが、一気に現実味を帯びてきたと感じます。逆に、イメージ図を見ると、夢や希望も湧いてくる。こんな学校になるんだと。しかし、令和9年4月、2年先の開校を目指していくためには、不安や焦りなどがあるのも事実です。

教育委員会としても精一杯、開校に向け、努力をしておりますので、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

今回の新小学校の開校でございますが、私、以前、南中学校の開校の時も教育委員会に所属しておりました。ただ今回は、南中学校の時とは、感覚として大きく違います。

一つは、4つの小学校を併せていくという事です。制服を一つとってみても、前回ならば二つの中学校の制服は非常によく似ていた。だからすんなりと決めていくことができたわけでございます。今回、4つの小学校の制服はみんなまちまちです。

また、通学路の方も以前と比べて広範囲にわたるし、色々な公共交通機関を使っていかなければならない。そういうわけで、今まで以上に難しい課題がたくさんございます。

また、今回の学校の目玉でもあります、『つながり』をテーマに校舎をつくっていくということです。今日の図などを見てもらえば分かるのですが、教室の半分以上は開放型。廊下とあわせていく。さらに、廊下と図書室につながっていくと。だから、空間的には校舎から図書室までが空間の広がりを持っている。そういう広い空間の中で、いかに子どもたちに教育をしていくのかという部分において、教育委員会として9か年を見据えた教育のあり方というものをもう一度考えていかななくてはならないということで、現在並行してやっております。

今後この2年間においては、各専門委員会の中から上がってくる色々な協議内容について本準備委員会の中で集約をしていただいて、また決定をすることもあろうかと思えます。新しい学校がスムーズに開校できますよう、ご支援、ご協力をお願いできればと思います。

新しい校舎が、未来の、20年後、30年後の子どもたちにも十分使えるような。そして、十分活用、教育ができるような学校づくりを目指していきたいと思っておりますのでよろしくお願いをいたします。以上でございます。

3. 会長及び副会長の選出

○近藤教育政策課学校再編推進室係長

続きまして、次第の3つ目「会長及び副会長の選出」に移ります。

会長、副会長の選出につきましては、準備会議の設置要綱第5条第1項に基づき、委員の互選により選出することとしております。いかがいたしましょうか。

○稲田委員

事務局の方で何か案がありましたらお願いします。

○高瀬教育次長

事務局案としまして、会長に徳島大学教授の小川委員を、副会長に小学校校長会会長の吉原委員を提案させていただきたいと思います。

○近藤教育政策課学校再編推進室係長

事務局から、会長として徳島大学教授 小川委員、副会長として小学校校長会会長 吉原委員という提案がありました。委員の皆様、いかがでしょうか。

○委員一同

異議なし。

○近藤教育政策課学校再編推進室係長

ありがとうございます。では、お二人、前のお席にご移動ください。

それでは、会長、副会長よりごあいさつをいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

○小川会長

改めまして、こんにちは。小川と申します。私、小学校の施設整備の選定審査委員を務めさせていただいております。昨年度から引き続きこちらの委員の方にもということで、今回、会長を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

ただ、私、徳島大学という名前が付いておりますが、地元の小松島小学校のPTAの会長でもありまして、他の小学校の会長さんと意見交換する中で、今年度はどここの学校が入学者数が少なかったなどという話がありました。再編に向けて、市民生活の中でも少し動きが出てきているのかなと感じております。

今回、制服の件であったり、校名の件であったり、具体的にどんどん話を進めていく中で、令和9年の開校に向けてきっちと決めていく事が重要であると考えておりますので、委員の皆様のご協力をお願いいたします。

○吉原副会長

皆様、こんにちは。坂野小学校の校長をさせていただいております、吉原稔祐と申します。私は、再編の会議の総務部会の担当をさせてもらっております。本日出てくる制服とか、校名についても先日話し合いをしたところであります。あとで事務局の方から話があると思います。

先ほど小野寺教育長から話がありましたが、再編のキーワードが『つながり』です。ここにお集りの委員の方々としっかり、今日、つながって、未来を担う小松島の子どもたちのために。本当に小松島で生まれてよかった。小松島の小学校で学んでよかった。中学校もですけど。そう思える子どもたちを育てていけますよう、しっかりとこの場で話し合いを進めていきたいと思っておりますので、皆様、ご協力のほどよろしく願いいたします。

○近藤教育政策課学校再編推進室係長

ありがとうございました。それでは、ここからの議事の進行につきましては、本会議の会長であります、小川会長にお願いしたいと思っております。小川会長、よろしく願いいたします。

4. 議 事

○小川会長

それでは、お手元の次第に沿って議事を進めてまいりたいと思っております。

まず、「(1) (仮称)新小松島小学校施設整備事業について」、こちらの方を事務局から説明をお願いします。

○近藤教育政策課学校再編推進室係長

「(1) (仮称)新小松島小学校施設整備事業について」(資料1)を説明

○小川会長

只今、事務局より、事業者の決定に至るまでの経緯、またその事業者から提案があった建物の概要の説明がありましたが、こちらについて何かご意見やご質問等がありましたらお願いします。

○稲田委員

10ページの二期工事期間。令和9年4月の開校ということで、それはそれでよいのですが。あとは屋外運動場ですね。令和9年4月1日から令和9年12月28日までの

第二期の工事期間に解体とか校庭及び外構の整備をすることになっていますが、子どもさんにとっては、屋外運動場が十二分に使えるようなものになるのかならないのか、この点をお聞かせいただきたいと思います。

○高瀬教育次長

委員のご質問にありましたとおり、令和9年4月に開校するのですが、開校した後に既存の校舎を壊すこととなります。というのも、今の敷地では仮設を建てませんので。令和9年4月以降、12月までの間にかけて解体と外構を整備していきますので、その間は工事の期間と同じようにグラウンド、運動場は使えないということになります。

○小川会長

その工事の期間中、南小の屋外でする体育であったり、新しくなった小学校の人数が少し増えた状態などを考えて、どこか別の場所を確保されているのでしょうか。

○高瀬教育次長

令和9年4月に開校しましたら、体育館自体は今の体育館の2倍の広さは確保できますので、今まで1学年であったものを2学年でできる可能性はあります。ただ、屋外のグラウンドは使えませんので、運動会であるとかそういうイベントについては、それまでの工事期間中と同じように、どこか他の場所、近くの高校などを使うことも交渉していかなくてはならないと考えております。

○小川会長

その他、いかがでしょうか。

○高井委員

南小松島小学校の現在の校長をしております。今説明いただいた中で、私も初めて校舎の配置図を見せてもらってなんですが。

まず1点目、7ページ右側の図、できるならばトラックは200m欲しいなというのがあります。せっかく一番大きい学校で150mというのは。普通、競技で200mで考えたら、どうしてそんなに半端なんだろうと。他都市では200mのトラックをとってという。

一つ原因にはあるのですが、北の端にある松ですかね。現校長としては、図面を見たときに松があることで運動場が小さくなっているのであるならば、未来の子どもたちのことを考えてもらって、もうちょっと移動させるとか。もちろん100年以上の歴史が

あるので、一校長がこんなことを言っているのか分かりませんが、未来の子どもたちのことをもっと考えるのであるならば、私は体育出身なので、200mは欲しいということと、運動場の端に松があって自由に遊べるのだろうか。今は校舎の間にあるので。この配置図を見たときに、運動場の端に何の囲いもなく松の木が存在しているというのは、せこい状態にならないかなということを感じています。

それと、ようやく新しい校舎の配置図が出たので、今現行にある校舎の場所と新しくできた校舎の間隔を考えると、本当に420人くらいですが、7年度後半から9年度の4月まで、400人の子どもたち。今だったら業間に飛び出して行って遊べる十分広い運動場があるのですが。10時20分から10時40分までの20分間、たった20分間ですが、子どもたちが運動場に出て遊んでいます。お昼休み時間、給食が終わった時間も、今こんなに暑いんですが、汗だらだらになりながら遊んでいます。それぐらい子どもたちがこの休み時間の間出てというのを確保していただくことは、ちょっと考えていただきたいとは思いますが、できるだけ短い工期で子どもたちに広い場所を提供していただけるような計画をよろしくお願いします。以上です。

○小川会長

事務局、お願いします。

○高瀬教育次長

高井委員からは、200mのトラック、それと松の事、400人の子どもの休み時間の遊び場の確保、この3点のご質問であったかと思えます。

まず、200mトラックについてですが、昨年度、学校の先生ですとか教育委員会でも話をしまして、要求水準書というものを定めております。その中で、150mトラックは必ず設けてくださいということでしたので、提案は150mトラックで出していると思います。200m以上が必要だという意見は昨年、先生からはございませんでしたので、ここでは150mのトラックということで要求水準書に書かせていただきました。

あと、松の事なのですが、学校をここの場所にすると決めた時に、住民の方や議員の皆様からは、松の存続についてかなり意見がございました。最初、松は置いておきますということで、お話をさせていただいておまして、要求水準書には松は残してくださいと書かせていただきました。ただ、業者からも3本残されると、場所が取れないという話もございまして、1本だけ残して、あとの2本は動かすことも可能ですと書き換えております。ですので2本については、全体配置図の図面でいう左下の『いのちの森』というところに移植する、1本だけはそのまま置いておくということになっております。

ただ、実際に児童さんが使われるようになった場合に、その松が本当に必要なのかどうかということは議論に出てくると思います。絶対に置いておかなければならないかどうかということは、まだこれからも協議はしていかななくてはならないと思っています。

400人の子どもの休み時間の事ですが、この図では出来上がりの図で分からないのですが、工事期間中も、今も給食室の前辺りに、少し遊べるようなスペースを設けるよう要求水準書に記載しています。スペースは全くないわけではないのですが、実際その部分では狭いかもしれませんが、ちょっと我慢していただくようになるとと思います。あとは学校の先生と子どもさん、保護者さんとも協議していきながら、中庭を使うかなどを考えていってもらう部分になるかと思っています。以上です

○垣内委員

すみません、先ほどの件で、高井委員から言われた200m、できるだけ広い場所がいいと思うので。昨年度、要求水準書に150mとしか書いてなかったから150mができましたというのではなく、200mに変える検討はされないということでしょうか。

あと3本の松の位置を変更することはないということは、ゼロ回答ということか、検討しますということか知りたいです。

○高瀬教育次長

150mトラックを200mにする、それ自体は線を引いてみたらできる可能性はあります。ただ、150mだったら十分に取れますよというのがこのスペースです。

あと、松については、学校が開校してから邪魔になるのであれば切るという選択肢もあろうかと思いますが、今のところは考えていません。

○水本委員

万が一、緊急車両が入ってきた場合、救急車とかを呼ぶこともあるとは思いますが、前の時には、ピロティの近く、1階のところに保健室があったので、通用口から入れるなと思って見たのですが。運動場の方に緊急車両が入ってくる場合、例えば、西校門から入ってきて、この図でいうとレンガブロックが敷き詰められているところを通過して運動場に入れるのかなと思っています。レンガブロックのところ、段差がある場合は無理かなと思っています。緊急車両の場合は運動場にも入ってこられるようになるのでしょうか。

○小川会長

事務局、お願いします。

○高瀬教育次長

緊急車両が入れるかどうかということなんですけど、この前、業者ともこの話をしております。実際、緊急車両ですので、ここは入れませんというのではないと思っています。西門であるとか、通用門から、あと北から入ってくるなり、できていくことになります。

○水本委員

北からも運動場に入ってこられるのですね。

○高瀬教育次長

この図では分かりにくいのですが、北門から入ったとして、駐車場左側の真ん中に少し窪みがあるのですが、ここの場所からグラウンドに入れるようにはなっています。

○水本委員

分かりました。

○小川会長

車両の出入り口は北校門と通用門のところが車両が入れる仕様に、審査の委員会の時にはなっていたかと思います。ハッチングがかかっている、舗装しているところ、通常は車が乗り上げないのですが、そういうところの構図を外せば入れると。設計の詳細は今後詰めていただけたらと思います。緊急車両の進入についてはこのような感じですよ。

○井内委員

学童の連絡協議会の井内です。エレベーターが付いてたのかということをお答えいただきたいと思います。あと、駐車場はアスファルト舗装ですよ。土じゃないですよ。

○高瀬教育次長

エレベーターは1階から4階まで上がれるようになっています。

○小川会長

その他、よろしいでしょうか。

○井内委員

新しい校舎についてですが、児童が雨の日などに学習スペース以外に使用できるスペースはあるのか。雨の日にグラウンドは使えないが、過ごせるようなスペースはあるか

お聞かせください。

○小川会長

事務局、お願いします。

○高瀬教育次長

それは放課後児童クラブの子どもに限らずということでしょうか。

○井内委員

できれば両方ですね。

○高瀬教育次長

児童クラブについては、先生がいらっしゃる2階のところにはスペースを今回は広めにとっている所がございます。あと、1階、ピロティ部分が多くなっていますので、今のその部分を活用しての雨天の活動できる所になるかと思えます。今の設計ではこのようになっています。ただ、この図面は提案段階です。これから基本設計にかかっていきますので、気になることがございましたらおっしゃっていただいたら、それを業者の方に伝えて、変更できるようにしてまいります。

○井内委員

ありがとうございました。

○小川会長

よろしいでしょうか。ご質問いただいた中で、細かな点は概ね達成できている状況かと思えます。グラウンドのトラックですが、150mが現在の仕様になっていますが、これはラインの引き方によって可能なのか、それとも樹木の移動等が可能であれば200mに変更することが可能かについては、引き続き実施設計、詳細設計の中で確認していただくということよろしいでしょうか。

地元からの要望等もあって調整が非常に難しいところかもしれませんが、児童の環境が少しでも良くなるように検討していただけたらと思えます。

それでは、議事の二つ目に入りたいと思えます。「総務部会報告」として、2点の報告事項があげられております。

まずは、一番目の「制服について」事務局から説明をお願いします。

○牛田学校課主幹

「(2) 総務部会報告 ① 制服について」(資料2)を説明

○小川会長

そうでしたら、制服の件について、質問等をお願いします。

○垣内委員

アンケートを見ると、前提としては今ある既存の制服を、そのまま新しい学校に持っていくという。今の1・2・3年生は、おそらく新しい学校に行くことになると思う。その児童は、現行使っている制服をそのまま移行することでもいいと思うのですが、それとは、また他に制服を新しく作るという考えでいいのですか。

○牛田学校課主幹

現在の3年生は、再編時には6年生になっています。つまり、今の1・2・3年生に関しては、制服を既に持っているような状況になりますので、再編した時には、制服をそのまま着てもよいというのが大前提にしたいと思っています。

ただ、今回のアンケートにおいて、新しく作るという方向に流れてくるのであれば、作るような流れになると思いますが、制服を新しく購入してくださいというのは、子どもたちの成長のタイミングに合わせての購入になると思います。

○垣内委員

新しく作る方向は一つ。制服は必要で、制服は作りますということは、検討して決まったと。つまり、新しく制服は作るという考えでいいのですか。この中で3番(アンケート調査票【問1の】3.新しく作る)はいらないと思うのですが。

○小川会長

今、「新しく」という言葉の定義が混在しておりますが。

○垣内委員

新しいデザインの制服を作る方向は、大前提ですか。

○小川会長

そこも含めて検討しているということです。

○垣内委員

ということは、新しい学校で制服を作らないということとなると、一つの小学校に千代、本校（松小）、南校のそのままの制服が、ずっと混在するということですか。

○牛田学校課主幹

統一はしていますが、最初のうちは、委員がおっしゃっているように混在しています。

○垣内委員

新しいデザインの制服は絶対作るという前提ですか。

○牛田学校課主幹

作るのであれば、新しいデザインです。

○小川会長

制服を設けるのか設けないのかということです。まず、このアンケートの中で制服を作るということは、すなわち私服で通学はしないということです。次に設ける制服に関して、全く新しいデザインで作るのか、あるいは旧のデザインのもをそのまま使っていくのかということをお問うているアンケートという理解です。

○垣内委員

新しいデザインを作らないという結果になってくると、3つの制服が混在するようになりますよね。

○小川会長

そこも含めて、最終的にはどれか一つに統一するということです。

○牛田学校課主幹

アンケート内容にも少し入れさせていただいていますが、もしも既存の制服、つまり、ダブルかシングルかという違いになった時には、どちらのタイプを選ぶのかという問いも後半の方に入れております。もしも、新しいデザインを取り入れた制服を使わないのであれば、どちらの形に落ち着いていくのかというアンケートの内容にしております。

○井内委員

芝田小学校は今、私服ですが、新小学校になったら新しい制服を買わなければなりませんか。彼らは私服でいいのですか。

○垣内委員

だから、まず、新しくデザインは新調しますよと。けど、今のままの制服でもいいですよというスタンスでないとおかしいと思います。

○井内委員

新校舎になったら、新1年生は新しい制服があるが、2年生から6年生までは今までの学校の制服でいいと。

○小川会長

その理解でいいと思います。今の1・2・3年生については、令和9年度以降は今持っている制服をそのまま使い続けてもいいと。令和9年度に新しく1年生に入ってくる子どもたちについては、制服をどうするのかということを決めましょうということです。

○垣内委員

千代タイプでいくのか、本校（松小）タイプでいくのか、南校タイプで行くのか、この3つの選択肢にならずに、全く新しいものを作るという前提があるのであればいいと思います。柱として、こうしますよというのを決めていただきたいと思います。ただ、選択肢としてはこうありますよというのでないと中々難しいと思います。

○井内委員

芝田小学校は制服を買わされて、ただでさえ遠いところから登校するのに負担が多くなるのではないかと。

素朴な疑問として、アンケート対象として市内11小学校に通う保護者ではなく、4校でよかったのではないですか。

それと、合併し特色を残すのであれば、場所は南小学校ですが、制服は芝田小学校を尊重して私服にしたらどうですかと。校名は小松島小学校の名を残したらどうですかと。クラスの名前も1組、2組ではなく、千代小学校で使われている「松・竹」にしたらどうですかと。そういう形で4つの小学校のそれぞれの特色を取り入れていくのもいいのではないですか。

○小川会長

今整理されていない情報としましたら、私服で通学している芝田の児童の子たちは、新しい学校には私服で行っていいのかということの整理が必要かと思います。

アンケートでは、前提条件として、すでに制服を持っている人、あるいは私服で通っている子はそのままで構いませんよと、ただし新しく入学する子の制服は決めますという前提条件をアンケートの鏡のところに書いていただいて調査を進めていくのがいいと思います。

○葛上委員

まず、制服ということについて、アンケートに答える方々の認識がバラバラというところが一番違うところなのかと思います。新しい学校の制服をどのように位置づけるのか。制服を作るということはこういう目的で作っていきますよとか。あるいは制服を作らないということは、こういうふうな形でやっていきますよとか。ある程度条件を整備していかないと、ある人はこういう思いでとか、みんな回答はしているけれど思いは結局違って、出た結果の中でばらついてしまうと。そんなんじゃないのとなる可能性があると思います。

それがまず1点と、ジェンダーレスとか様々な要素、気候が厳しくなってくるとかを含めていくと、制服のあり方ということも、これからもっともっと考えていかななくてはいけないだろうし、もちろん、これまで小松島に住んでいる方々の考えも非常に大切なのですが、一方で、今、これから日本全国、人の取り合いといいますか、人口をどう維持していくのかということと、他の地域から移っていただくということも考えなくてはならないと思います。そういうことを想定していった場合に、新しい学校をせっかく作れるのだから、そういう良い行いをやっていって、周りからとか県外も含めて、子どもたちが集まってくる、保護者の方もこの学校で教育を受けさせたいから集まってくるということを視野に入れていかないといけないと思います。

そういう訳で、制服というものをもう少し考えて、こういうふうな意味で制服を導入しますよとか、新しい学校の制服として考えていきますよということです。その中で経済的な観点から、旧の学校の制服を着られることによってコストを下げますよとかいう考えもあるし、新しい学校だから新しい制服という考えもあるだろうし、本当に自由という中で違うコンセプトとかもあるのかなと思います。そのあたり条件をそろえていかないと、中々アンケートをしても誰も満足、納得しない結果になってしまうと思います。

○小川会長

今のお話、総務部会でも議論されていたかと思うのですが、総務部会の議論の経緯の中に、このアンケートの事があったと思いますが、説明いただけますか。

○牛田学校課主幹

総務部会の中で、先ほど委員の皆様から意見もありましたように、芝田小学校は現状制服が無いという話も出ており、芝田小学校に何かしらの対応が必要ではないのかという議論がなされました。新小学校に対しては、今のままの状態での入学は可能、つまり、芝田小学校は制服が無い状態ですので、私服でも差し障りないのではと現状では考えておりますが、これから検討していきたいと思えます。芝田小学校への対応として、例えば事前にバザーをするであるとか、そういうふうな対応をすることで、少しでも制服を着用できる機会も生まれるのではないかという話も出ておりました。

これから先、制服を決めていかないといけない方向なのですが、経済的負担は出てくると思えます。しかし、買い替えるタイミングで買う、成長に合わせて買うというふうにしたいて思っておりますので、入学があるが故に大きな負担を背負うことが無いようにしたいと思えます。

○水本委員

とにかく制服ありきなのですね。

○牛田学校課主幹

もう一点、すみません。先ほど、昨年度行ったアンケートは11小学校と就学前ということだったので、少し計算しなおしまして、再編の関係のある4校で計算しても同じような割合になっております。6割（あったほうがよい）と3割（なくてもよい）と。これは小松島市内でも、再編する4校でもこの数字は変わらない結果となっております。

○吉原副会長

私、総務部会の部会長しております吉原です。総務部会では、水本委員がおっしゃっていたように、「制服作るのですか」という意見がありました。でも、アンケート結果を見て制服はある方向でという前提で議論を進めました。井内委員がおっしゃるように、「芝田の子はどうするのか」という意見もたくさんございました。芝田の子が不利益を被らないようにと。それに関しては対応策を考えますということで、総務部会では終わっております。

前提になっていくのが、保護者の方に経済的負担をできるだけ軽くするというのが前提で、この議論を進めております。その結果が今日お出しした資料（資料2）になります。以上です。

○西山委員

小松島中学校の西山です。職員会議でもよくあるのですが、方法論ばかりだと迷宮入りしてしまうのですね。葛上委員がおっしゃったように、理念は何かという。考えておかなければいけないのは、このままいけば小松島は急降下していくというのは多分ここにいる皆様はひしひしと感じているところだと思います。だから教育にかけるしかない。その魅力ある教育にするためにどういうふうにしていくのか。そのために制服はどうあるべきなのか。そこにはジェンダーレスの考え方であったりとか理念がないと。議論がかみ合わないのは理念なく、ただ方法論だけでどうしていくのかというところがあると思う。できればその理念を明記するし、その理念を市民の皆様にお伝えをしてそれをもとにアンケートをする。理念さえ分かれば、どうしたらいいかは自ずと見えてくると思っています。

先ほど、井内委員から芝田小学校やそれぞれの学校で思いがあると思うのですが、もうそこは断ち切って、未来志向で、子どもたちの未来をどうするのかという視点で考えないと、パッチワークのような学校をつくるのであれば、これはいけないと思います。未来にいる若者たちが困らないようにやっていくという理念をしっかりと持って、それと、吉原副会長がおっしゃったように経済的負担をどうするか、そこもすごくいると思うので。理念をもうちょっと市民の方に聞かれたらいいのかなと思います。以上です。

○高井委員

現段階で、一番数が多い学校（南小松島小）で。総務部会の中でも引っかけたのですが、現在の制服の使い方。アンケートにもあったのですが、例えば儀式にしか制服を使わないのであれば、制服は必要がないのではないかと。芝田が無くなっていった経緯もそういうところにあるのではないかと。

南校の児童は、ほぼ毎日着ています。なぜ毎日着ているかといったら、悩む必要がないから。私服であると、この私服を着ていくと友達にいじめられたりそういう懸念があるのではないかと。制服があれば悩まず毎日着てこられると。体操服に着替えてと。今現在一番多い人数の中で、それが毎日繰り返されている中で、逆にそれを私服化する意味。今までだったら何も考えずただ制服を着ていけばいいものを、高いが一度買えば、その服で毎日来れると。それが今度毎日のように服を考えなければならなくなるという生活を選ぶかどうかと言われたときに、一番多い人数の学校の保護者の事を考えたときに、南校が儀式のときに1回しか着ないのであれば制服は無くなっていると思うのです。私も以前そういう学校から来たので、毎日のように着ているのを見ていると、子どもたちが意味を考えて制服を着ているのかということ、そうではないのですが、その服も衛生

面も考えながら一着ではなく、二着、三着と買って、洗いながら回しながら生活しているというベースが一番大きいので、アンケートをとっても一番大きい学校の意見が通ってしまうのではないのかと思います。そうすると芝田の意見を考えたときに心苦しいなと思います。

実際に制服を学校に着ていくことの理念、自分たちが着ている制服に誇りを持つとかいう方向に向けていけたら一番いいと思うので。制服を着ていくという方向に傾注はしていくと思うのですが、芝田の事を考えると、どこそこの学校の制服を買うという方法がいいのかというのと、それとも、新しい学校の制服が今ある3つの学校に近い制服があればいいのかなというのを考えています。以上です。

○西山委員

実は前任校で制服の新しいことを、ジェンダーレスの観点から検討ということで、業者から話を聞いたことがあり、例えば今、中学校で変えようと思っても、市レベルでかなりたくさんのもが無いと非常に高価なものになる。だから、今度新しくするのであれば、新しい制服にする。ただしそれは、新しく新開にもできる全ての小学校が同じ制服にして、ワッペンだけ変える。そういうふうにしたらいけるのではないのか。

今回あまり議論をせずに制服を決めてしまったら、次、新開とか将来どんどん学校が少なくなった時に困るのではないのかと思います。究極的には2校か3校になるおそれがあるのであれば、そこをゴールとして、その時にどのような制服にするのか。例えば全部同じ制服、校章だけを変える。そして今現在どうしていくのかを考えていけばいいのかなと。目先じゃなく、何十年先、少なくとも三十年先の未来を見ないと、後の人が困るのではないのかと思います。以上です。

○葛上委員

先ほど、制服を学校に着ていったら、もめないよねという話がありました。これからの子どもたちがそんな考えでいいのかということもあるわけです。これから外国の方たちがどんどん入ってくる。様々な違いというのも出てくる。その中で、考えなくて、いじめられなくて、消極的な制服というかたちで考えていくのも一つだろうし、一方で、お金で買えるのは個性ではなくて、自分の中から磨いていくのが小学校、中学校だと思いますので、そういうふうな形で服装にお金をかけるのではなく、自分たちの中身をどう磨いていくのかということを考えていきながら、競うと。毎日着ていく事に悩むのではなく、誰が何着てもいいじゃん。それよりも大切なのはもっと違うところだよねということ子どもたちが考えて学校生活を送っていける。そういう子どもたちをつかっていける、育てていくために何をしていくのか。そういうことができないから、制服

にしてもめ事を少なくしましょうというのが未来の学校では無いのかなと。その辺も含めて制服を着る場合は考えていかなければならないと。この学校に所属していて、誇りをもってという文化ももちろんありますので、その文化というものを子どもたちも保護者も含めて納得して制服を選択していくというふうなかたちになってほしいと思います。

○小川会長

色々な意見が出る中で、一つにまとめていくのが難しい状況ですけども、制服を設けることの意義。アンケートの段階になると中々出てこないのですけど、学校再編するにあたって基本理念、そういったところを含めて、どう制服を設けるべきなのかというところが一点。

さらに現時点でこのアンケートをとった場合には、一番大きい南校のスタンダードの意見が一番多くなってしまいうのがアンケートの結果からおそらくそうなるのではないかと。未来を見据えて新しいデザインを作るのであれば、違うものを作るにしても、スケールメリットを考えていかないと、単独作っていくと高価なものになる。これから将来的に数が少なくなっていくのであれば、新しい（仮称）新小松島小学校だけでなく、次の学校のところまで見据えて考えてはどうかという大きなところで話が進んできたと思います。

事務局に確認ですが、制服に関することはいつまでに決めておかなければいけないのでしょうか。前提条件として、今制服を持っている子はそのままの制服で通えと。そこは皆さん反対は無いかと思うのですが、新しい学校で新しい制服を設ける・設けない、その部分に関してはいつまでに。調達するためにはいつまでに決まっていなくて、何かスケジュール感はありますでしょうか。

○牛田学校課主幹

できましたら、なるべく早くというのがあります。購入のタイミングも様々ですし、早く決めたいところなので、できましたら今年度中には方向性を示して周知を図っていききたいとは考えています。

○小川会長

もう一度総務部会の方で議論をしていただいて、制服を設ける意義みたいなところをしっかりと示していった上で。アンケートもフリーハンドで書くのではなくて、もう一段絞り込んだくらいで問うていくのが混乱がないのかなと。アンケートで様々な意見が出る中で、この会議の中でもまとまらない状況ですので、次のところまでペンディングさせていただくのもよろしいでしょうか。

○坂口委員

制服ってすごくもめるんですね。実は私の子どもが通う小学校で、ちょうど1年生に上がるときに自由服にするか制服にするかというときで、結局は自由服になりました。制服は標準服という名前に変わり、着たい子は着るといって、非常に柔軟になりました。結局、新学期になったとき、誰も制服を着ていません。1年生に入学してきたときも誰も標準服を着ていないと。入学式とか卒業式でも、ブレザーを買ったり、結構おしゃれにしてきていました。制服って前時代的な印象を思っていて。私立の場合は特色を出すので、制服にデザイン性に優れたものや、学校の特色を出したりしていますので。公立の場合に必要なのかなと感じております。

アンケートについても、在校生に問うと、今制服をお持ちなので、ほぼほぼあったほうが良いという結果になってしまうと思うのです。新しく1年生に入ってくる幼稚園の父兄の方とか、保育園とか認定こども園とかの父兄の方々にアンケートを取っていただいた方が、素直な気持ちが出てくると思います。比率的には変わってくると思います。年代・性別の区分になっていないので、「必要ない」という割合も上がってくると思います。

○垣内委員

(就学前にも)取っているのですよね。

○牛田学校課主幹

取っています。

○坂口委員

非常に難しい問題ですので、皆さんが納得するように考えられたらいいと思います。自由服になると先生も管理がしやすいと思います。制服のボタンが外れているとか、ホックが無いとか。中袖で暑いので衣替えの前にTシャツで来るのもいいですね。気候変動に対しても自由にできるということが非常にメリットがあると思います。ご検討された方がいいのかなと思います。

○井内委員

制服も私服も一長一短ありますが、私服が徳島市でだんだん増えているという事実はあると思います。私服はすぐ買えるし。あと、学童で話し合っていた時に、私服の方がネグレクト防止になるというのが一つあります。私服ももうちょっと検討したらいいの

にと思います。

○垣内委員

去年、私、総務部会にいた時に全員が満場一致で制服があったほうがよいという結論になった記憶があるので、そこで多分動かれていると思います。僕も未だに制服はあったほうがよいという意見です。今後、教育委員会が主導で決定してもらえたらと思います。

小川会長が先ほどおっしゃったようにアンケートも絞り込んだかたちで、ブラッシュアップしたかたちでないと僕自身も迷うようなアンケート内容だったので、ちょっと考えてもらえたらと思います。

○小川会長

制服のアンケートについては、一回持ち越しということをお願い申し上げようと思います。制服のところをたいぶ時間を使ってしまいました。続いて二番目の「校名決定手順について」事務局から説明をお願いします。

○牛田学校課主幹

「(2) 総務部会報告 ① 校名決定手順について」(資料3)を説明

○小川会長

学校名の募集の経緯と応募方法等について説明がありましたが、こちらに関しましてご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

○葛上委員

やはり学校名ですので、コンセプト。先ほど校舎について設計の説明がありましたが、このコンセプトでこういう校舎をつくっていくと。コンセプトにふさわしい学校になるには、地名だけでなく一つの「つながり」という考え方。校名決めるというのは、あちこちで問題になっていますので、一番多いところでなくて、コンセプトなどをしっかり理解して決定しますという事を書いておくほうがもめなくていいと思います。

○小川会長

アンケートについては、資料3の表面に学校のパース図が載っていて、裏面にもよく似たパース図が載っていますが、ここの部分に新しい学校のコンセプトを載せるとか、募集要項の中で少し分かるような内容にさせていただけたらと思います。

決定方法については、「応募多数によって決定するものではありません。」とあり、住民投票のようなかたちではなく、まずは校名の候補を募集するという事で、学校名の候補募集とするほうがよいかもかもしれません。

人数によって決まるというものではないですが、「一人につき一度まで」という事は、裏面に書いてある氏名、住所くらいでチェックしていくという認識でよいのでしょうか。

○牛田学校課主幹

そうです。

○小川会長

そうしましたら、校名の候補を募集するという事で進めていただけたらと思います。ありがとうございます。

それでは、その他現在総務部会で持ちこされている案件等ありましたら、事務局からお願いします。

○牛田学校課主幹

先ほどの校名募集につきまして、総務部会で準備会議に持ち越されている案件があります。校名を決めるにあたり、現存する小学校の名前を使えるか、使えないのかという事です。また、それが平仮名であったらどうなのか。こういったところが総務部会で決まらずに準備会議に申し送られてきております。例えば南小松島小学校が無くなって小松島小学校ができる。小松島小学校が漢字ではなく平仮名だったらどうなのかと。色々な考え方がありますが、現在使われている校名を使用可能とするのか否かということをお聞きしますがこの場でご協議いただければと思います。

○小川会長

現時点の募集要項ではその辺り細かく書いておりませんので、この要項で募集した場合は、平仮名のもの、常にあるもの、恐らく色々なものが出てくると思います。出てきた段階で、候補を一つに絞る場合、今あるものは使えるのか、平仮名だったら大丈夫なのか、その決め方のプロセスです。

○稲田委員

今ある学校の名前は競争になるのでやめた方がいいと思います。今ある小学校の名前ではなく、新たな名前を募集した方がいいと思います。

○葛上委員

応募用紙を見ていると「応募名称の理由」と書いていただいていますので、「現行の学校があるから、今の学校にします。」というものだったらそれは違うと思いますが、例えば小松島小学校が「つながり」のコンセプトのところと合致していればそれはそれでいいのかなと。今ある学校で、「子どもたちが一番多い学校です。」という理由だけではなく、もっともな理由で選ばれたらいいのかなと思いますので、あえて条件を設けなくてもいいと思います。

○井内委員

コンセプトも含んでですが、小松島小学校の名がどれくらいあるか分かりませんが認めてもいいと思っています。小松島にある学校で小松島の名前がない、候補に挙げてはいけないというのもおかしいと思います。

○垣内委員

縛らなくてもいいと思います。

○小川会長

そうしましたら、今の校名を使うと揉めて決まらないのではというご意見もありましたが、裏面のところに「応募名称の理由」もありますので、募集する段階ではフリーで集め、最終の決定のプロセスの段階で「応募名称の理由」を判断して決めていくのでよろしいでしょうか。

○坂口委員

応募資格に「どなたでも応募いただけます。」とありますが、日本全国どなたでもいいのでしょうか。

○牛田学校課主幹

どなたでも結構です。

○小川会長

広報は広報誌やホームページを通じて、あるいは学校を通じて配布か、どのようになるのでしょうか

○牛田学校課主幹

9月の広報には掲載しようと考えております。各校には紙のものも配布して、なるべく多くのご応募ができるような形をとっていきたいと思います。

○小川会長

そうでしたら、続いて、「(3) 教育課程等部会報告」として、「小中連携について」事務局から説明をお願いします。

○牛田学校課主幹

「(3) 教育課程等部会報告 小中連携について」を説明

○小川会長

そうでしたら、ご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

○委員一同

質問等なし。

○小川会長

続きまして、議事の四番目の「その他」として、事務局から何か連絡・報告事項がありましたらをお願いします。

○近藤教育政策課学校再編推進室係長

「(4) その他」として今後のスケジュールを説明

○小川会長

ありがとうございます。新小学校の概要が7月24日の夜に公開されると思いますので、お時間ありましたら積極的に参加いただきましたら、より詳細な説明がされると思います。

説明会は事業者も来られるのですか。

○近藤教育政策課学校再編推進室係長

その予定です。

○小川会長

実際に設計に携わった方もご参加いただけるそうなので、ぜひ参加いただくとより詳

細な説明がお伺いできると思います。

本日は制服の件がペンディングになってしまいましたけど、改めて制服を設ける意義みたいなものをしっかりと示していただいて。その後のアンケートについても少しシンプルにして、極端な話、本校（松小）形式、千代校形式がいいのか、南校形式がいいのかというのは、今いる児童や保護者の負担という事なので、それは今あるものは今使ってもいいという事で。制服を設ける場合にも、デザインされた高価なものがいいのか、安価で大量生産できる制服がいいのか。これから買う人がどうかというような聞き方がいいと思います。アンケートの問い方についてはご検討いただければと思います。

○吉原副会長

総務部会の部会長をしていますので、制服の件は先ほど会長から説明があったように、制服を作る方向で考えていますが、制服をどの制服にするのかにつきましては、もう少し理念をきちんと示した上で、次の総務部会を早急に開いていただいて、そこで検討してアンケートも分かりやすくシンプルにしましてアンケートの結果を11月の準備会議に諮って決定していきたいと思います。

○小川会長

そうしましたら、進行を事務局にお返しします。

5. 閉会

○近藤教育政策課学校再編推進室係長

小川会長、吉原副会長、委員の皆様、本日はお忙しい中、長時間にわたり、熱心なご審議を賜り、誠にありがとうございました。それぞれの課題解決等に向け、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

以上をもちまして、「令和6年度 第1回 小松島市立学校再編準備会議」を終了させていただきます。

委員の皆様、本日はありがとうございました。